

—富良野消防署占冠支署からのお知らせ—

住宅用火災警報器の適切な維持管理について

日頃の点検は必要！？住宅用火災警報器が鳴ったらどうする！？

住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう。

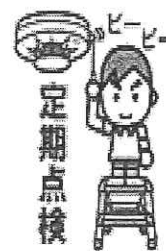
・住宅用火災警報器の電池の寿命は、一般的なものでも約10年と言われています。古くなると電子部品の劣化により火災を感知しなく恐れがあります。

10年を目安に、本体を交換しましょう。



住宅用火災警報器の日ごろの点検は？

- 点検は、居住者が行って下さい。
- 点検ボタンを押すか点検ひもを引っ張り、定期的に作動確認をしましょう。
- 正常なら『ピーピーピー火事です。』『正常です』などの作動音が鳴ります。
- 点検をして作動しないときは、電池切れや機器本体の故障などが考えられますので、取扱説明書を確認するか、メーカーに問い合わせください。



住宅用火災警報器が鳴ったときはどうするの？

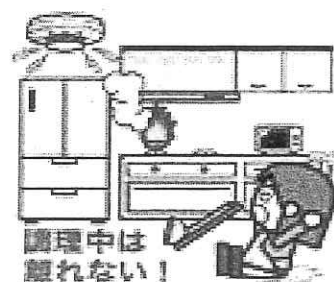
【火災のとき】

- 火元を確認し、可能であれば初期消火を行ってください。
- 火が消えなければすみやかに避難してください。
- 119番通報を忘れずに

【火災ではないとき】

- 異常がないか周囲をもう一度確認しましょう。
- ボタンを押して（ひもを引いて）警報音を止め、室内の換気を行いましょう。

※「調理時の煙や湯気」や「くん煙式殺虫剤の使用」などでも鳴ることがあります。



問合せ先：富良野消防署占冠支署 指導係（奥平・山西・山田）

☎：56-2119 FAX：56-2738